

病院局の新型コロナウイルス感染症への対応状況

【総務企画課】

1. 熊本市市民病院の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ

(1) 経過

令和2年2月 8日 帰国者・接触者外来設置
2月21日 県内初の感染者発生・受入
// 感染症病床8床に加え一般病棟28床を
感染症病棟として整備（計36床）
4月20日 第1波受入れ患者のピーク（25名）
8月 5日 第2波受入れ患者のピーク（33名）
令和3年1月 9日～24日 第3波受入れ患者のピーク（36名）

(2) 院内感染防止対策

【当初からの取り組み】

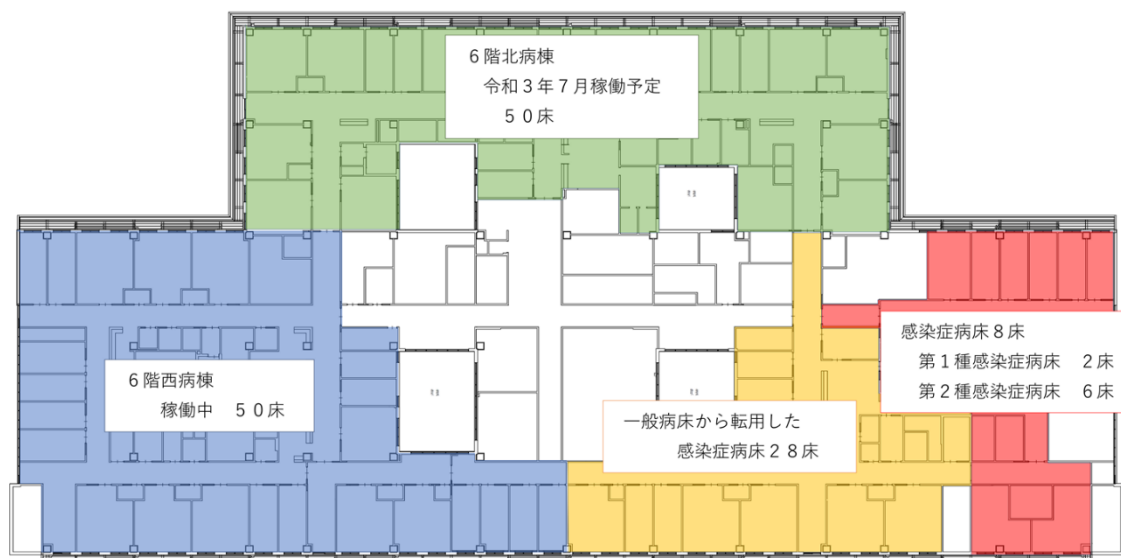
全職員の毎朝の健康チェック、外来患者・入院患者の体温測定、面会の禁止、窓口等へのアクリル板の設置、手指消毒の徹底等

【院内クラスター発生後】

- ・感染症病棟に従事する職員のPCR検査週1回（令和3年1月27日開始）
- ・その他職員のPCR検査は月1回（令和3年3月2日開始）
- ・オンライン面会受付開始（令和3年3月10日～）

(3) 6階病棟稼働状況

第1種感染症病床（2床）及び第2種感染症病床（6床）の計8床に加え一般病床28床、合計36床で患者受入を行っている。



新型コロナウイルス感染症入退院患者数推移（熊本市民病院）

※各日24時時点

(人)

(2021.5.20 24:00現在延数)

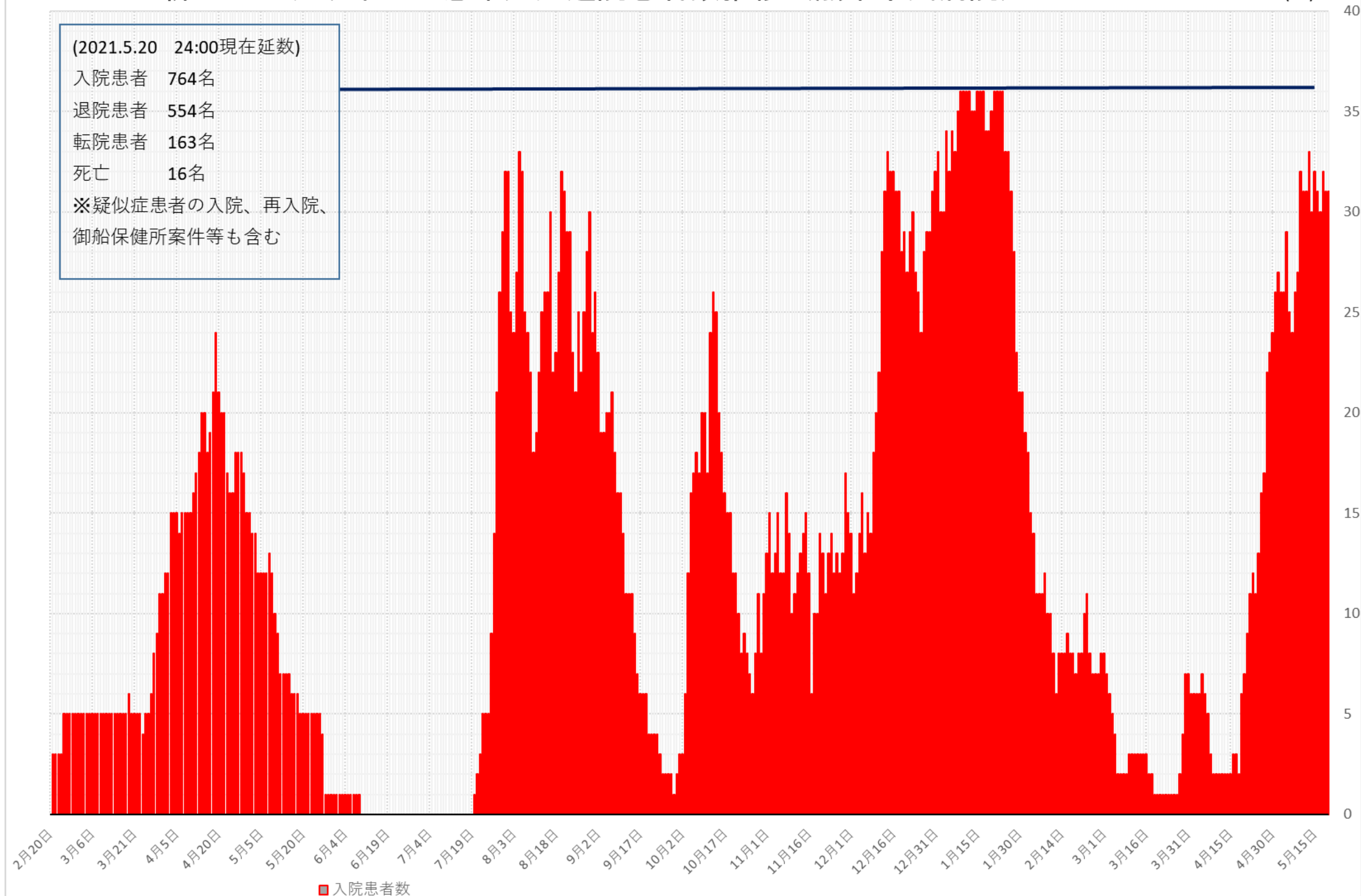
入院患者 764名

退院患者 554名

転院患者 163名

死亡 16名

※疑似症患者の入院、再入院、
御船保健所案件等も含む



2. 植木病院の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ

(1) 経過

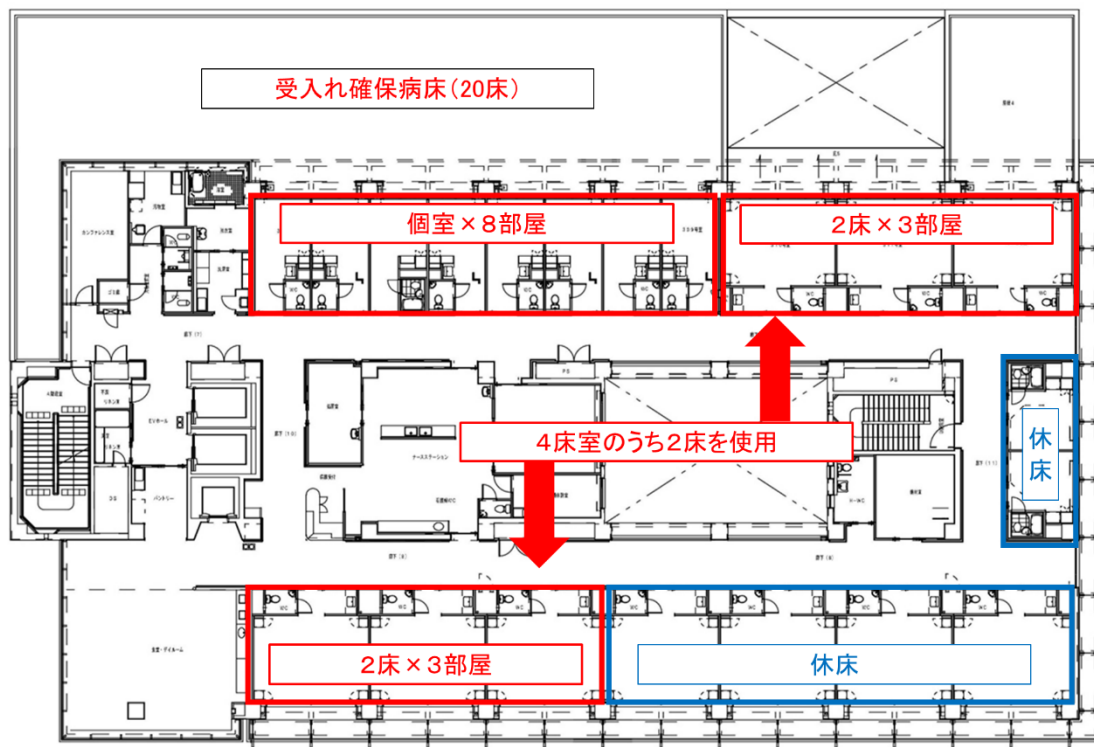
令和2年2月25日 帰国者・接触者外来設置
4月22日 3階病棟（一般急性期 50 床）で受入れ開始
※50 床のうち、受入れ確保病床5床（45 床休床）へ転換。
4月30日～5月3日 第1波受入れ患者のピーク（4名）
8月4日 3階病棟（一般急性期 50 床）で再度受入れ開始
※50 床のうち確保病床10床（40 床休床）で受入れ。
8月20日～ 確保病床を 20 床（30 床休床）へ。
8月20日 第2波受入れ患者のピーク（15名）
12月14日～1月25日 第3波受入れ患者のピーク

(2) 院内感染防止対策

全職員の毎朝の健康チェック、外来患者・入院患者・面会者の体温測定を開始
順次面会の禁止、窓口等へのアクリル板の設置、手指消毒の徹底等。
院内職員（医療従事者向け）へ新型コロナワクチン予防接種を 3～4 月実施。
訪問看護ステーション職員のPCR検査を月1回実施。
リモート面会開始（令和3年4月23日～）

(3) 3階病棟稼働状況

急性期一般病床 50 床のうち、20 床を感染病床へ転換し、患者受入を行っている。
残り 30 床は休床中である。



新型コロナウイルス感染症入退院患者数推移（植木病院）

※各日24時時点

(人)

(2021.5.20 24:00現在延数)

入院患者 293名

退院患者 249名

転院患者 24名

死亡 0名

※疑似症患者の入院、再入院
等も含む

